

警察庁によると、平成24年における交通事故の発生件数は66万5138件で、前年と比較して2万6918件減少しました。死者数は4411人で、252人減り、12年連続で減少と

なっています。

死者数を年齢

別に見ますと、65歳以上の高齢者が2264人で全体の51・3%を占めて最も多く、次いで50歳代が452人、40歳代が386人の順でした。

高齢者の状態別では、歩行中が

49%、次いで自動車乗車中、自転車乗車中の順となっています。また、法令違反別では、横断歩道外横断、走行車両の直前・直後横断等の道路横断時の事故が目立ちます。

高齢者が51・3%!

交通事故を防

ぐためには、信号機のある交差

点では、必ず信号に従い、また、横断歩道のある交差点では、左右の安全をよく確かめてから渡ることなどをこころがけましょう。

交通安全10メモ